

## 森や自然を活用した幼児教育・保育への支援に関するアンケート調査の結果について

## 【調査目的】

森や自然を活用した幼児教育・保育の現状や、森林環境税を活用した今後の支援ニーズについて把握するため、アンケート調査を実施

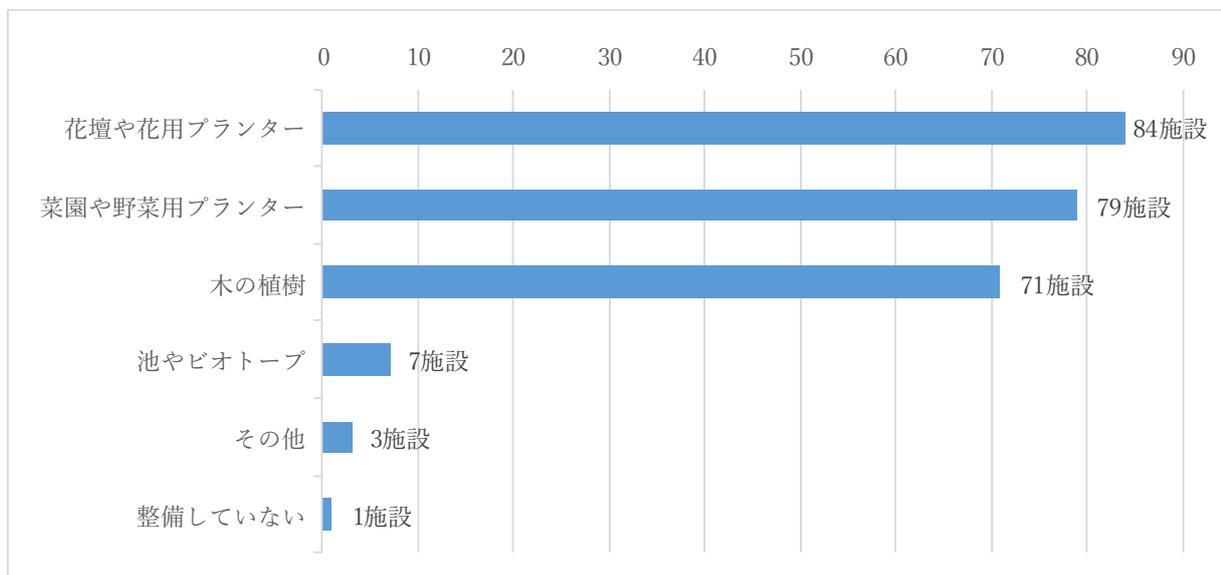
## 【対象施設】

県内幼稚園、保育所、認定こども園（291 施設）

## 【回答】

85 施設（回答率：29%）

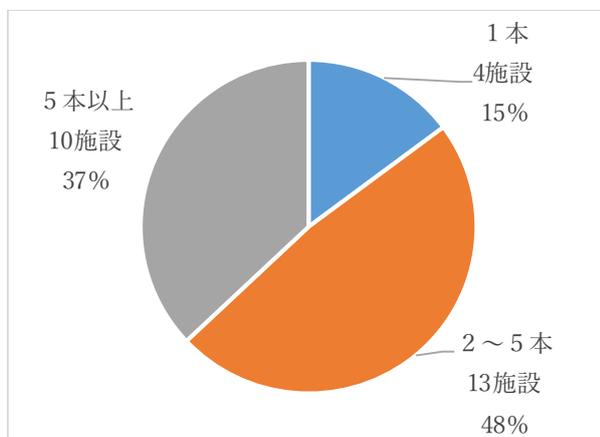
問 1. 貴施設の園庭における自然環境の整備状況について、あてはまるものをお選びください。（複数選択可）（回答数=85 施設）



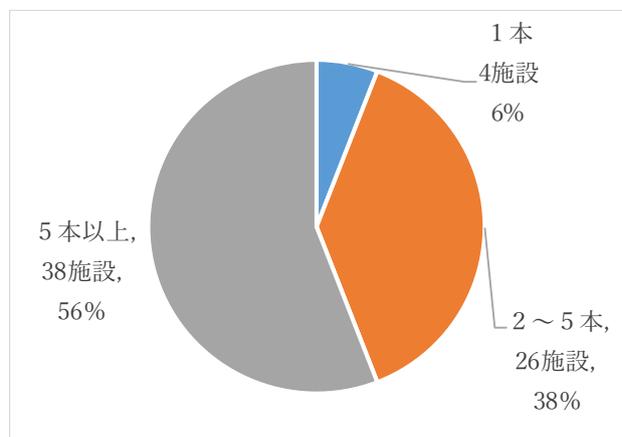
問 1-2.（問 1 で「木の植樹」を選択した場合）分かる範囲で結構ですので、植樹している木の本数や、代表的な樹種名を記載回答してください。（回答数=71 施設）

## 【木の本数】

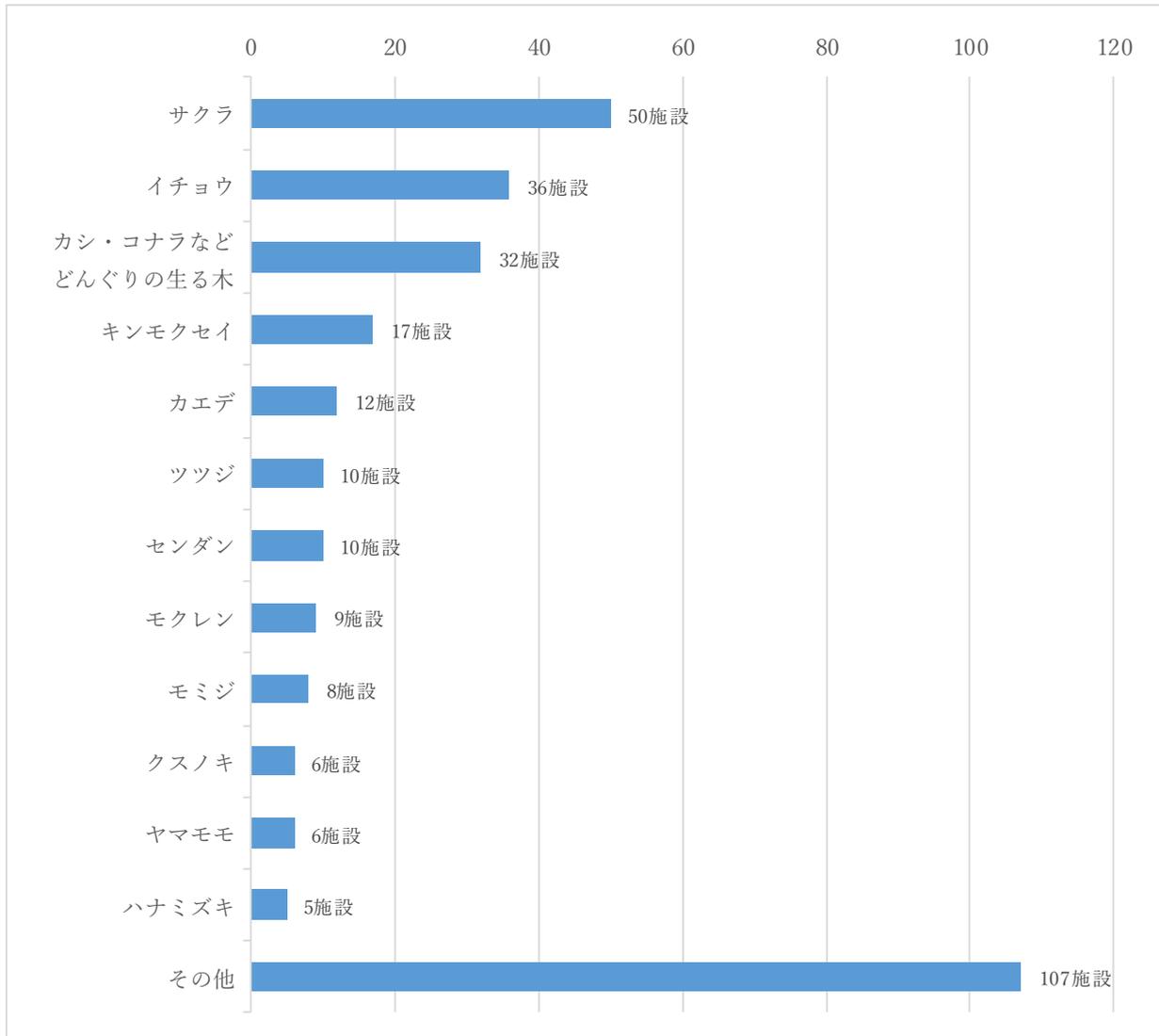
・高木：2m以上に育つ木



・低木：2mで止まる木



【代表的な樹種】

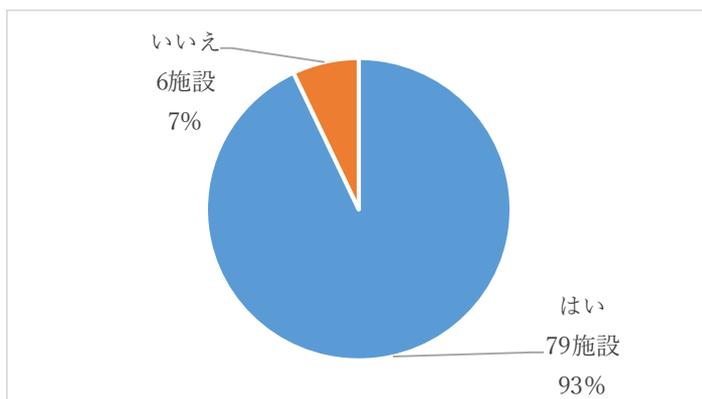


【その他】

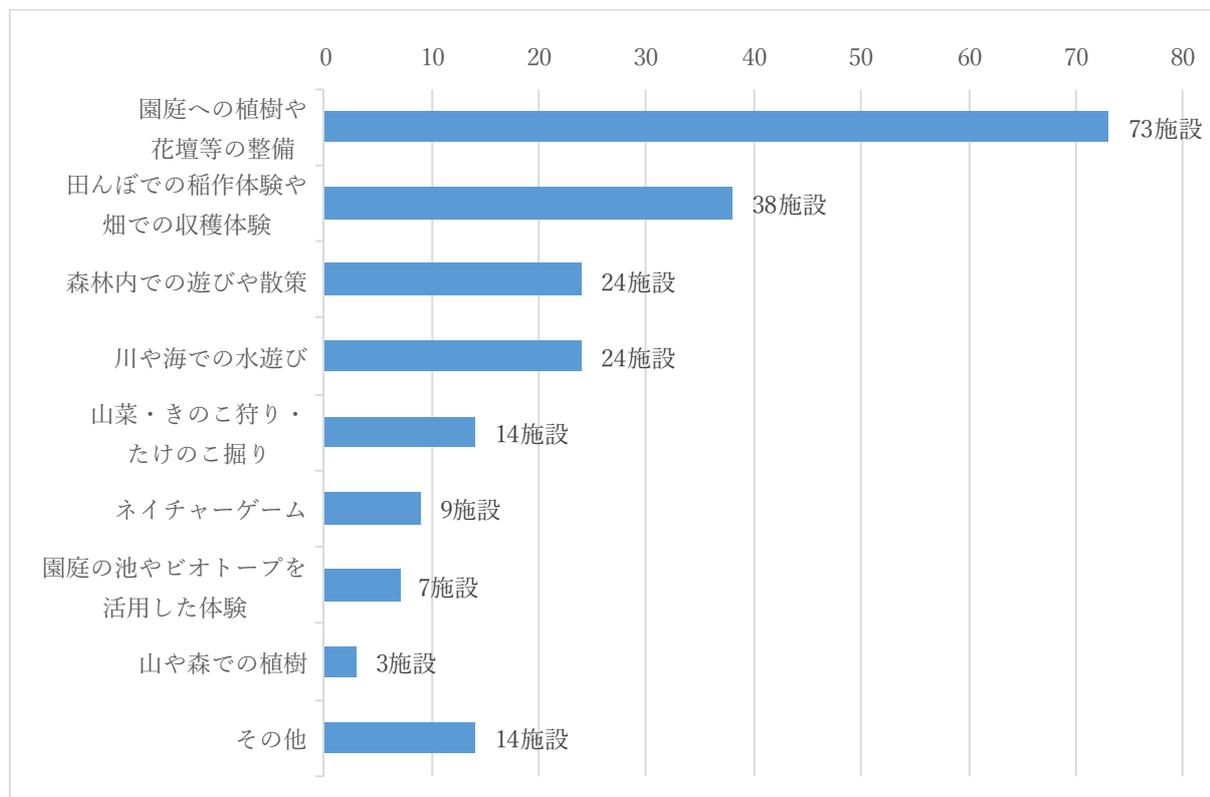
さざんか、びわ、フジ、カキ、ナンテン、ケヤキ、サルスベリ、梅、サツキ、スモモ、アコウ、オリーブ、カツラ、アオキ、桑、スモークツリー、カイズカイブキ など

問2. 貴施設では、自然教育・保育※を実施していますか。(回答数=85 施設)

※豊かな自然環境やその他の地域資源（農林水産物、観光資源、伝統・文化、人材などの地域の特徴ある資源）を積極的に活用した体験活動を取り入れた幼児教育や保育



問3. 【問2で「はい」と答えた場合】現在、自然教育・保育について、どのような活動を実施していますか。（複数選択可）（回答数=79施設）

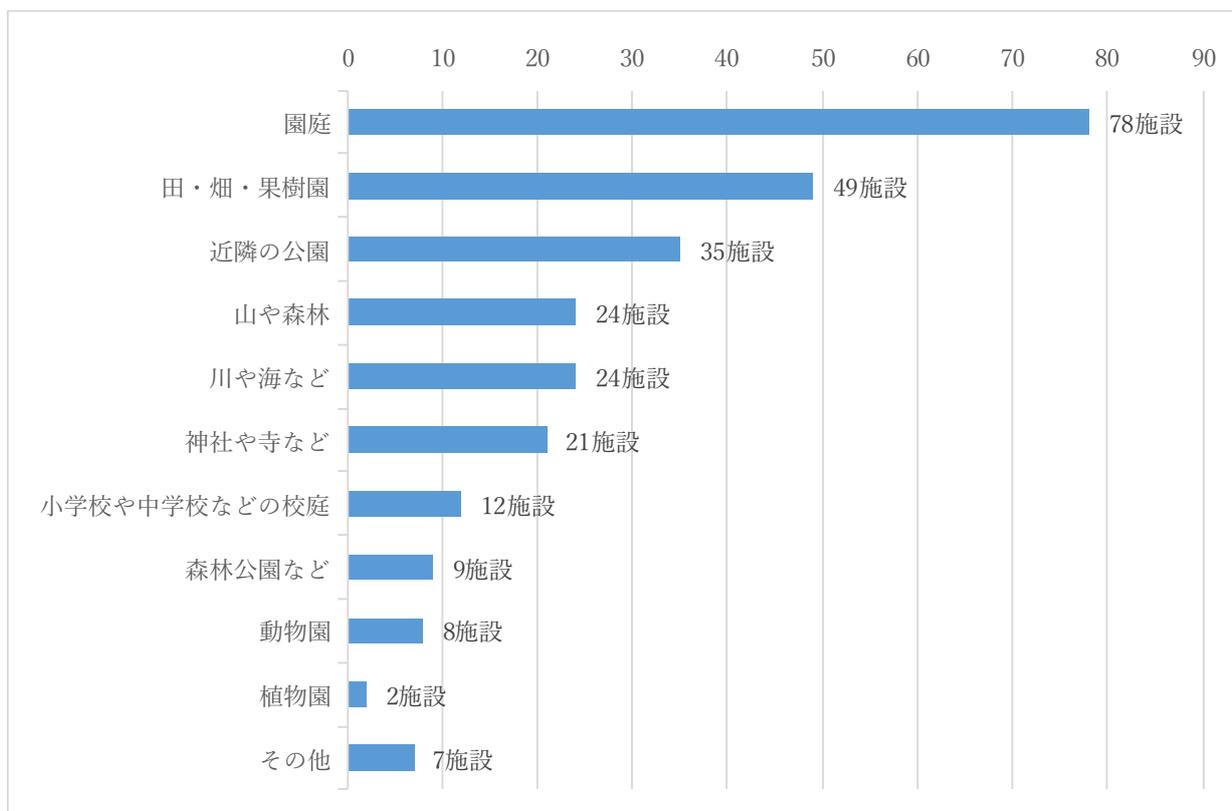


**【その他】**

- ・ 地域のお祭りに参加
- ・ 地域の方が安全安心な野菜づくりをしている活動に参加
- ・ 園庭で実った梅を使っての梅シロップ・梅干し作り
- ・ 谷川遊び
- ・ 総合学園（幼稚園、小学校・中学高等学校、短期大学・大学）の敷地内での散歩
- ・ 自然体験学習（環境保全の話や赤土と腐葉土を使った実験・アメゴのつかみ取り体験）
- ・ 小学校で使う木の机の工場見学（机に使用する原木のある山の見学、保護者と一緒ののこぎりや紙やすりを使って机の仕上げ等）
- ・ 山道探索
- ・ 散歩
- ・ ヨモギ取りからの団子づくり
- ・ サワガニ・オタマジャクシとり
- ・ 園庭の木や崖に登って遊ぶ
- ・ 栗拾い

問4. 【問2で「はい」と答えた場合】屋外で自然教育・保育を実施する場所はどのような所ですか。

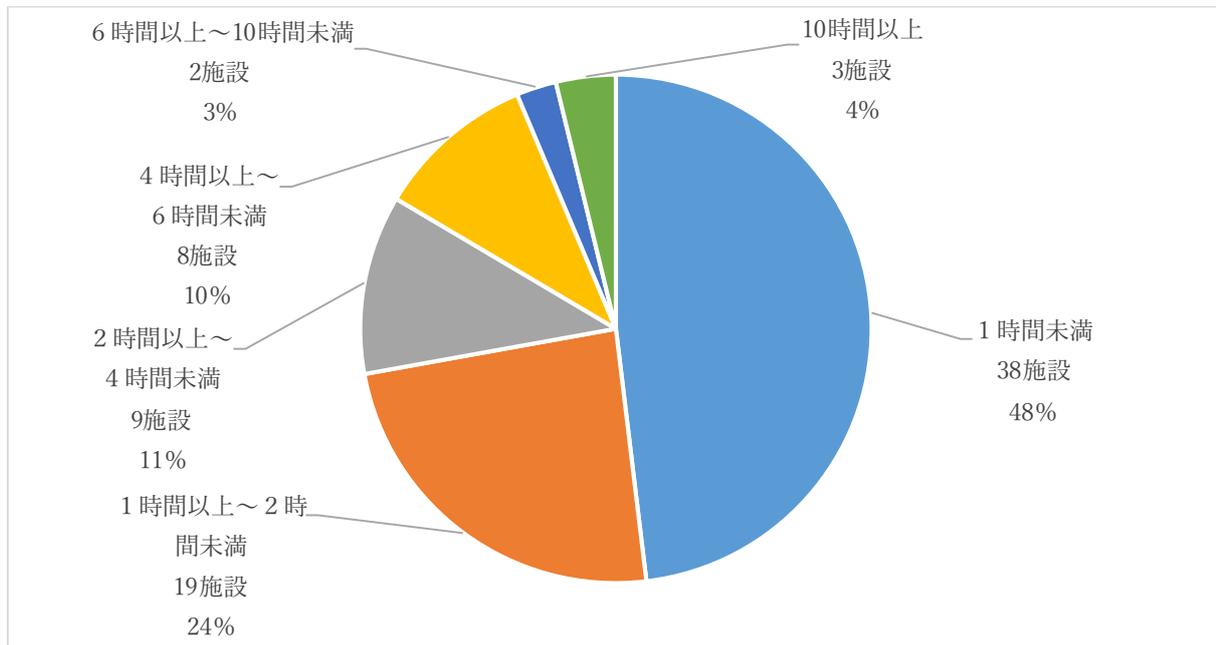
(複数選択可) (回答数=79施設)



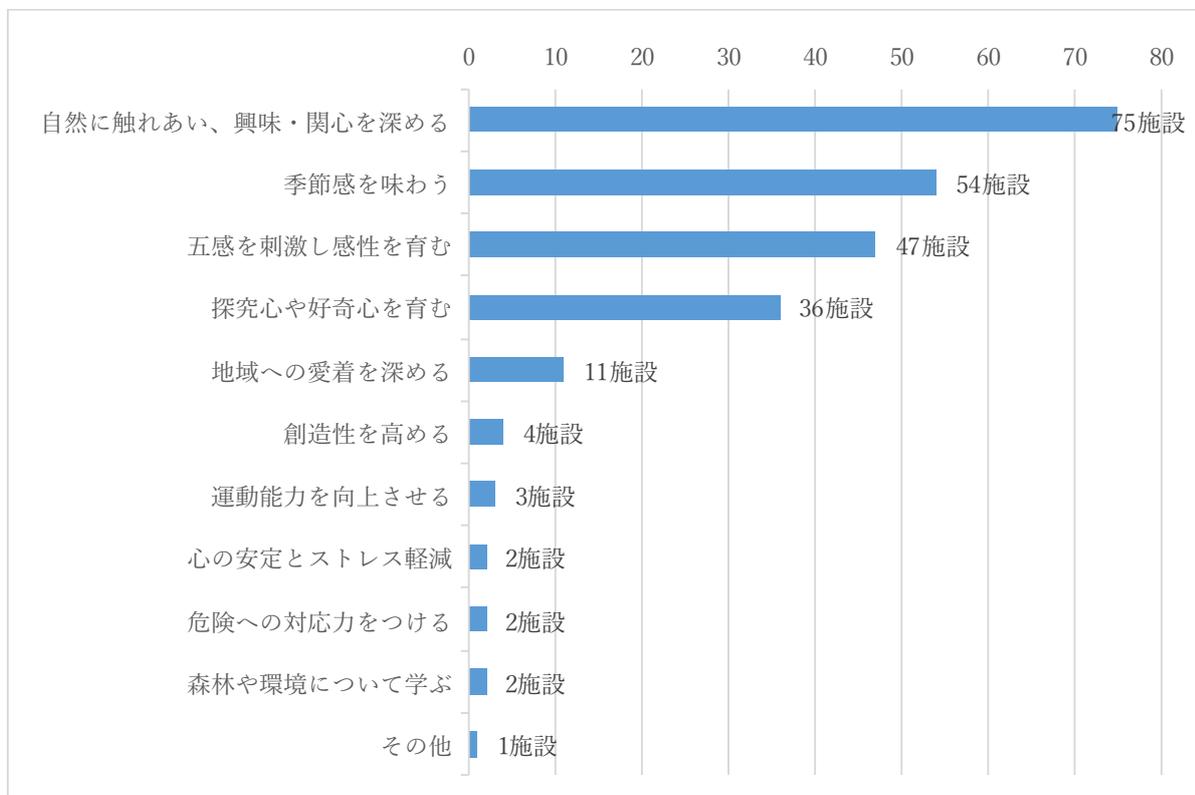
**【その他】**

- ・ 散歩の道中
- ・ 近隣の農道や山道
- ・ 総合学園（幼稚園、小学校・中学高等学校、短期大学・大学）における自然（樹木等）
- ・ 園舎近くの牛舎
- ・ 沢

問5. 【問2で「はい」と答えた場合】1週間のうち自然教育・保育を実施している時間は大体どれくらいですか。（回答数=79施設）



問6. 【問2で「はい」と答えた場合】自然教育・保育を実施することのねらいや目的は何ですか。（上位3つを選択）（回答数=79施設）

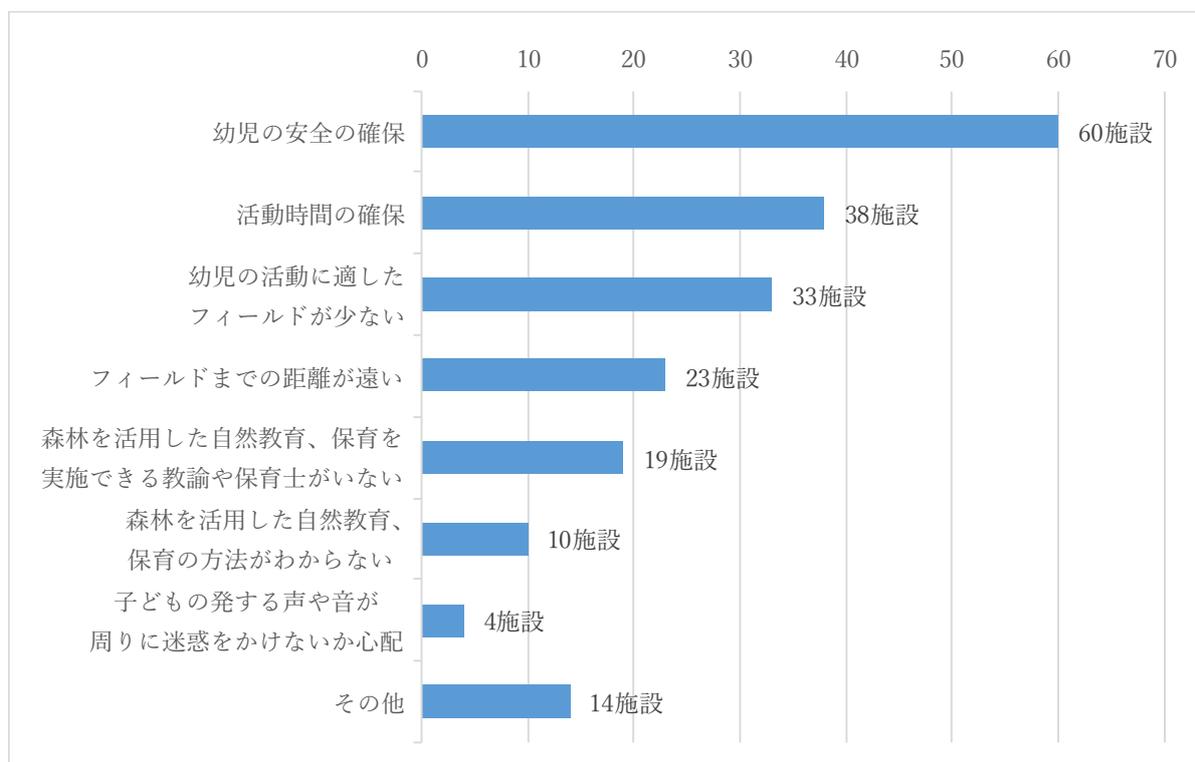


【その他】

- ・(植物の) 生長を待つ楽しみや、お世話の仕方により生長が変わること、その年の気象条件によっても生育に違いが出てくることなどを経験してもらいたい。

問7. 自然教育・保育を実施していない理由や、実施する際の課題は何ですか。（上位3つを選択）

（回答数＝85 施設）

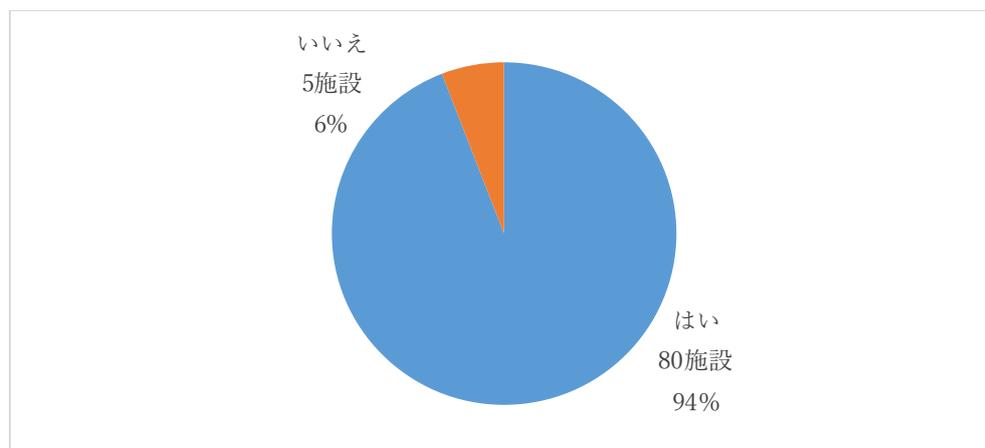


**【その他】**

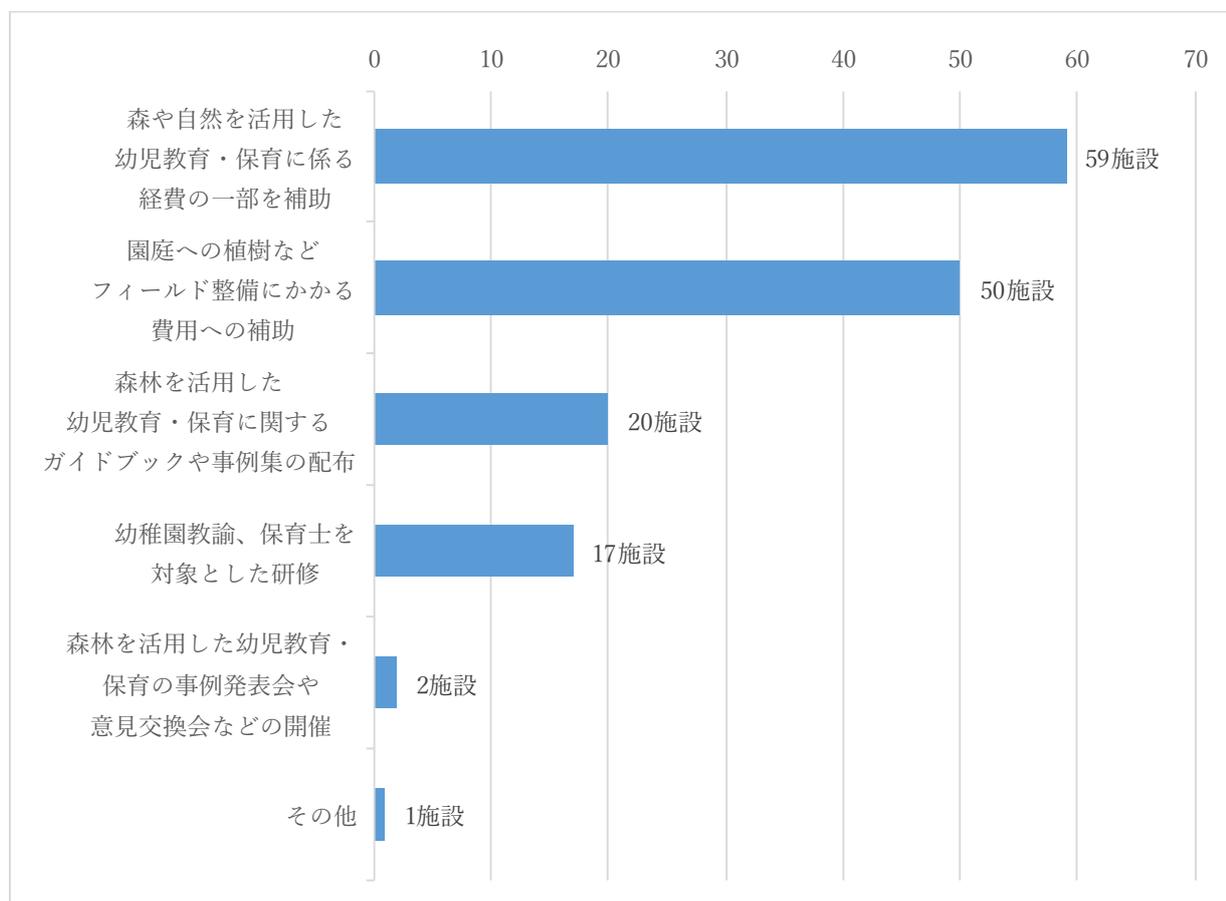
- ・温暖化により戸外活動を制限
- ・小規模の園のため園児の移動に係る予算確保が難しい
- ・付き添う職員数の確保が難しい 等

問8. 森や自然を活用した幼児教育・保育を実施するにあたり、行政からの支援が必要と

か。（回答数＝85 施設）



問9. 【問8で「はい」と答えた場合】行政からの支援について、どのような形が望ましいと考えますか。(上位3つを選択) (回答数=80 施設)



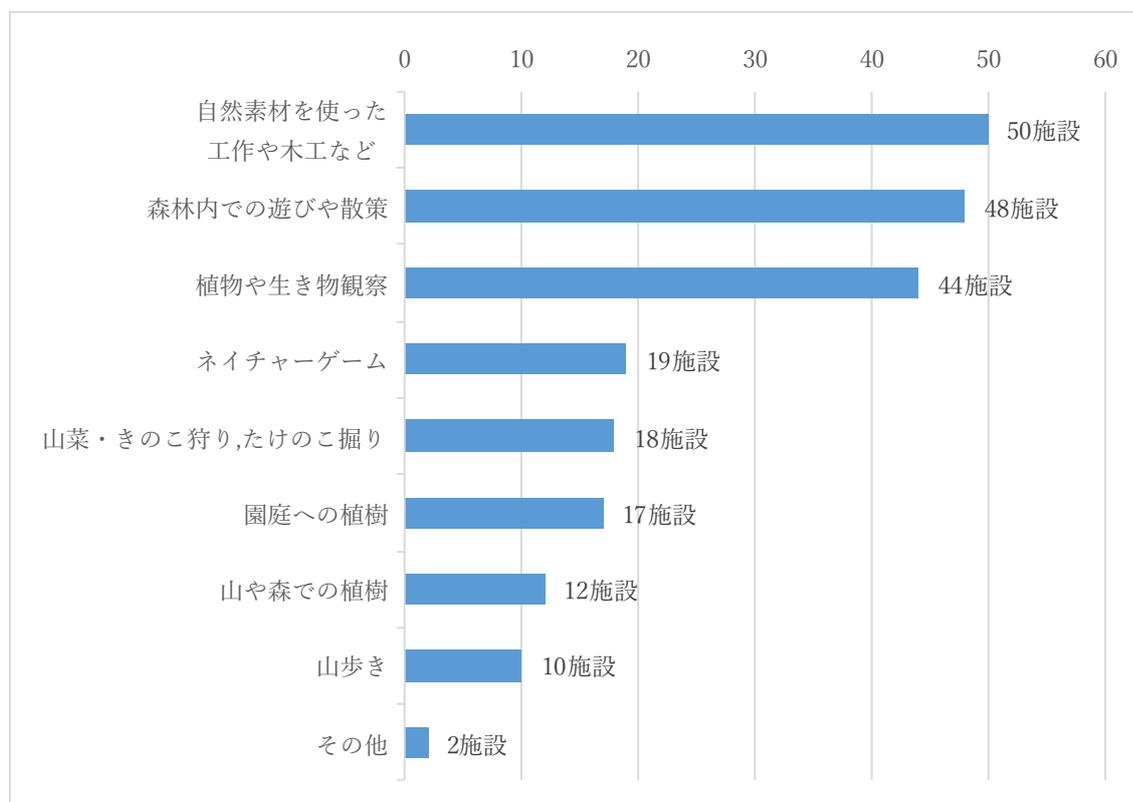
【その他】

- ・保育士の人材確保

問10. 【問8で「いいえ」と答えた場合】その理由をご記入ください。(回答数=5 施設)

- ・自然が豊かな場所にあるので、行政の支援がなくても自然に触れられる環境にある (4 施設)
- ・自然の取り組みは、今の子ども達にとっては安全性に課題がある (1 施設)

問 11. 森や自然を活用した幼児教育・保育に対して、行政からの支援がある場合、実施したい活動はありますか。(上位3つを選択) (回答数=80 施設)



【その他】

- ・園庭の環境整備
- ・私達は自然の一部であり、すべてのいのちが繋がっていることを子ども達に分かりやすく伝えられる活動があれば、教えていただきたい。

問 12. 自然教育・保育について、ご意見やご要望などがあれば自由に記載してください。

- ・園庭の木の維持管理には費用がかかる。周辺が自然豊かで恵まれた環境なので、近隣の自然を活用したい。
- ・園庭の木々の手入れの補助があれば、子どもたちが環境の良い園庭で過ごせると思う。
- ・自然教育・保育を行う上でのフィールド整備に対し、行政からの支援があればよい。最初の整備だけでなく、その後フィールドを維持していくための支援を受けることができれば、自然教育・保育を続けて、なおかつ発展させて行うことができる。
- ・自園は街の中心地にあり、小規模園で園バスを保有していないため、自然に触れる機会を設けることにハードルがある。貸切バスなどの費用に補助があれば、自然教育が実施できる。
- ・身近にある自然環境を大事に体験させていきたい。そのための、安全保育への心がけも必要。
- ・(周囲の自然について) 十分な整備がされてなく、ヘビ・ハチなどの心配もあり、散歩に出かける場所が減少している。

#### 【アンケート結果を受けた今後の対応方針】

- ・問8（森や自然を活用した幼児教育・保育を実施するにあたり、行政からの支援が必要か）において、「必要」と回答した施設が9割以上。また、問9（行政からの支援について、どのような形が望ましいか）において、「経費の一部を補助」との回答が最も多数  
⇒ R8年度において「山の学習支援事業（年間を通じて森林環境学習を实践する事業）」の対象に幼稚園や保育所、認定こども園を加えることを検討
  
- ・問9において「園庭への植樹などフィールド整備にかかる費用への補助」との回答が2番目に多数  
⇒ 当初R5～R8年度の3カ年の予定だった「緑化促進事業費補助金」をR10年度まで延長  
⇒ 高知県森と緑の会において緑の募金により実施している緑化推進に関する事業を紹介